

## 第 5 7 7 回 放送番組審議会

1. 日 時 2021年9月21日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員 長	佐藤 健志
副委員 長	加藤 千晶
委員	前田 千香子
委員	越沼 洋一
委員	緑川 智恵子
委員	林 英彰
委員	岩山 徹
委員	久保 公人

欠席委員 1名

委員 蛸崎 奈津子

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
畑山 篤	(常務取締役 報道制作・編成担当)
石川 亮	(取締役 営業・プロジェクト事業担当)
藤原 哲也	(報道制作局 報道部部長)
三浦 裕紀	(報道制作局 報道部副部長)

事務局

藤村 恵一 (編成局長兼編成部長)

#### 4. 議 題

1. 8月14日(土) 午前10:25～午前10:55

報道特別番組「縄文文化、世界へ ～登録への歩みとこれから～」

2. その他

#### 5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

○世界遺産に登録された意図は何なのか？というところを、伝えたかったのだという様に感じて、最後にそこを持ってきたというのは非常に良かったと思った

○アフターコロナに向け、県北・沿岸・県南バランスよく位置している県内の3つの世界遺産が、岩手県経済に与える経済効果の可能性、経済効果がどんなに大きいものなのかというものについて、また取り上げていただく機会があればありがたいと思った

○この番組は問題点を考える「地に足の着いた番組」という印象がある。活性化の可能性を探るだけでなく、課題も盛り込んであり、すごく考えさせられる番組だというのが第一の印象だった

○希望が持てると感じたのは、御所野愛護少年団の活動についての紹介で、清掃作業とガイドをしていると紹介があったが、画面では清掃活動だけが映っていた。せっかくなので、ガイドをしている様子を取材できれば若い子達、これからの次世代の子達がこのように取り組んでいるというメッセージを残せたのではないのかと思い、そこだけが残念だった

○1万年前の誰とも分からない縄文人たちの暮らしに、文化遺産としての価値を認定した意義は大きかったのだろうと思った。ただ国内に数ある縄文遺跡の中で、何故この遺跡群だけが世界遺産に認定されることになったのか、その理由をもう少し解説してもらえると理解がより深まったのではないかと思った

○番組の構成が世界遺産登録による経済効果についての課題と、その世界遺産の内容を伝える為の課題という、大きく分けて2つの課題があったが、それが若干まぜこぜに出てきているような感じを受け、それが分かりにくかった、難しかった1つの要因かと思った

○世界遺産の要請までに史跡の登録から14年経っていましたので、単独では無く構成資産の一つであるため他の遺跡の復元や整備なども影響しているので、一戸町の人達はどんな思いでやっていたのかということや、他の遺跡との関係というのも登録までの経緯を紹介していただけると良かったと思った

○今回登録された世界遺産の顕著な普遍的価値というのは何か、それをどのように保存し今まで伝えてきたのか、これからどう伝えていくのか、こういった視点で是非、顕著な普遍的価値

にフォーカスした第二弾の番組を期待しているので、じっくりと番組の構成をしていただきた  
いと思った

#### 局 側 意 見

○世界遺産に登録されて番組を作り、私的にもおめでとうという意味合いはあるが、登録され  
たことの効果、今後の課題を冷静に分析して伝えなければと思い、今回の番組を制作した

○経済的な面に少し偏ったというご指摘もあったが、確かにその通り。世界的な価値や歴史的  
な価値も最初の構成は長めにとっていたが、実際取材をしていく上でその部分を広げてしま  
うと、なかなか確信の課題にたどり着けないというところもあり、少し縮めてしまった。やはり  
そこを描くことによって、御所野の縄文文化としての価値というのは伝えられたと今回意見を  
伺い思った

○愛護少年団の活動で清掃、ガイドをしている映像が無かったというお話があった。実は、ガ  
イドの取材を入れていたのだが、コロナで世界遺産登録になってすぐの週のガイドのイベント  
が中止になってしまい、取材が出来なかった。

#### 7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

- ① 自社放送 9月28日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ② テレビ岩手本社での据え置き
- ③ 読売新聞への掲載(別掲)
- ④ 自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>